

# 事業実績報告書

様式2  
(2019年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-19	講座名	健康と環境～生物多様性の保存と利用・継承と未来～
記載日		団体名・企業名	岡本明子

## 〈講座全体の概要〉(300字程度)

・座学では、環境が健康に与える影響、直接的には気温上昇による熱中症、間接的には、生態系変化による病気の発生などを考える。感染性廃棄物の処理方法なども知る。

・未来を見据えた遺伝情報の利用として、愛知がんセンター研究所がんバイオバンク代表から、がん予防への応用を聞く。遺伝子、環境、生物多様性のつながりがよくわかる。

・見学では、名古屋市立大学の薬用植物園で種の保存とその利用を考え、愛知学院大学歯学部展示室で骨格標本から進化と適応を知る。

・全体を通して、環境と健康の関係、進化と適応・過去から現在までの生物多様性の利用、今後の展望を学ぶ。環境・生物多様性が、私たちの暮らしに深くかかっていることに気づく。



## ※写真1の説明

名古屋市立大学薬用植物園の見学

## ※写真2の説明

愛知学院大学歯学部歯科資料展示室の見学

## 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

社会見学会型環境講座、環境カウンセラーと行くシリーズの今回のテーマは『健康』です。

『健康』も、環境と深く関わっています。多様性によって導かれる進化、有用植物を継承・利用している薬学、多様な遺伝情報をがん予防に役立てようとする医学、から生物多様性の恩恵を再考します。気候変動による影響も無視できません。感染性廃棄物の扱いも心配です。愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野長・バイオバンク部門長松尾氏からは、遺伝子レベルでの多様性と癌予防への応用研究の講義を受けました。名古屋市立大学薬学部生薬学教授牧野氏からは、ABSが薬学研究に与える影響などもお聞きした後、薬用植物園の見学をしました。愛知学院大学歯科展示室では、曾根氏から生き物のあごの骨の変遷から進化を学びました。最新・専門的な講義に、感謝いたします。

## 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

『健康と環境』のテーマに魅かれて受講、思った以上に幅広く、専門的な講義に大満足です。／健康と環境は関係があるだろうなあとってはいても、具体的にはわかっていなかったが講義を聞いて納得した。／生物多様性が、こんなにも広く健康や私たちの生活に関わっているとは思わなかった。／名市大薬用植物園の見学ができてよかった。(管理は大丈夫か心配)／愛知学院大学歯学部、このような博物館があることを知らなかった。／本物のあごの骨を、説明を聞きながら見学できてよかった。／健康や環境に対する視野が広がった。